

Eagle Eye Cloud VMSにおける体温監視用サーマルカメラ

サーマルカメラの中には、人の体温測定用に特別に設計されたものもあります。これらのカメラは、ビルや企業、劇場、小売店など人が集まる場所の入り口に設置されており、その目的は、顧客や訪問者の体温を非接触で測定する信頼性の高い方法で、追加測定が必要かどうかを判断することにより、安心感に繋げることです。これらのカメラが適切に設置・運用されていれば、発熱を測定して報告する総合ソリューションとなります。

発熱監視を目的とした Eagle Eye Cloud VMSのメリット

最先端のソリューションで管理を簡素化

- 体温のしきい値を超えるとリアルタイムでアラート通知を送信
- 測定時の接触を最小限に抑える
- 遠隔アクセスでいつでもどこでも監視可能
- 映像データや体温データをクラウドに保存
- 転送中および保存時の映像とデータを暗号化
- ユーザー権限を簡単に詳細設定できる



体温監視用サーマルカメラの活用が 期待される業界



病院



空港



学校



オフィス

Eagle Eye Cloud VMS は、以下のメーカー製のサーマルカメラをサポートしています。

dahua
TECHNOLOGY

LUNELL

MOBOTIX

HIKVISION

AXIS
COMMUNICATIONS

FLIR

免責事項:イーグルアイ製品は、コロナウイルス、H1N1、SARS、またはインフルエンザの診断にはデザインされていません。また、イーグルアイネットワークスは、医療業界または医療目的のカメラに関する宣伝広告をしていません。サーマル製品は、より高い温度を示す个体群の個人を識別できます。サーマルカメラは、コロナウイルスの症状を経験している個人を検出しません。正常な体温の感染者を熱的に検出する方法はありません。資格のある医療専門家だけが、高体温をもつ人が健康状態にあるかどうかを判断できます。イーグルアイ製品は、医療用に販売または位置づけされていません。